

山行NO NO. 1798-2
日時 2018.06.09 (土) 晴・上部は風あり
山域 上越国境・稲包山 (いなつつみやま・1598m)
コース 水上・民宿「みちのく」6:45-猿ヶ京温泉-法師温泉手前-登山口発7:50-第一鉄塔8:31-第二鉄塔9:02-トラバース道-国境稜線-稲包山9:44~55-登山口11:04-法師温泉入浴-発12:45-長泉16:45
標高差 上り 登山口標高約882m~稲包山=1598m=約716m
下り
参加者 GT, KH, MM, MMK, GM, HS, OW=7名

サクと上る上越国境の秀峰

初めて泊まる水上の民宿「みちのく」は、安価だが、なかなか良い宿だった。
夕食は御馳走が満載で食べきれなかった。
宿泊は我々だけだったので、女将に我儘を言って、一人部屋にして貰った。
その場合、本来プラス1000-とのこと。
お酒も大いに飲んで、ちょっと酩酊だった。
朝食は6時に済ませ、「おまけ山行」の稲包山に向かった。
心配された天気は、昨夕夕立ちがあったものの、上天気だった。



民宿「みちのく」

峠を越え、猿ヶ京温泉から法師温泉に向かう。
法師温泉手前が稲包山分岐だが、道標がなく法師温泉まで行ってしまった。
戻って登山口に向かう。林道のブッシュが手入れなく車にバシバシ当たる。
駐車場直前も道標がなく、再び戻り駐車場着。
登山口に稲包山の小さな看板があった。
周りは杉林で手入れがされ登山道が伸びていた。



実はこの道、エアリアマップに掲載されていない。
何故なら、上部にある送電線鉄塔の巡視路なのだ。
ま、この手の巡視路は全国各地にあり、有難く利用させて貰っている。



第一鉄塔

沢音を聞きながら、杉林の中の物凄い急登に行く。
昨日の西黒尾根の疲れが残り、脹脛は悲鳴を上げる。
それでも我々はまだ良かった。何と今回参加した女子三名は、一昨日、6日間の九州遠征から帰ったばかりだった。たった、1日休んだだけで・・・オドロキ！！
展望が開けると、第一の鉄塔だった。
小休憩して飲み物を補給。上部はイイ風が吹き気持ち良い。
再び左手の尾根を、ジグザクに上って行く。
兎に角、一本上りの急登で効率は良い。
上部が開けたら、物凄い巨大な送電線鉄塔が現れた。
こんな大きなものは、あまり見たことがない。



巨大鉄塔

この送電線は、津南の信濃川発電所で発電し首都圏に送っている。
JR東日本が所有している。従って仮に原発がアウトになっても電車は止まらない。
昨年、蓬峠で見た送電線と同じである。それにしても巨大である。
送電線越しに稲包山の尖ったピークが見えた。

道は鉄塔から南に大きくトラバースする。
登山道ならこんな道作りはないだろうが、巡視路ならのモノだろう。
ダイレクトに尾根を行きたかったが、熊笹が酷くとても無理だった。(地図赤点線)
20分ほどのトラバースで、上越国境稜線に出た。
稜線は風通しが良い、明るく気持ちが良い尾根だった。
長い間登山を続けているが、この辺りの山は、殆ど上っていない。
今回は新しい経験・発見が出来て良かった。
稲包山は、まだ先で梢越しにピークが見えた。
最後の踏ん張りで急坂を上る。空が広がり頂上に着いた。

皆もゾロゾロ登頂。展望は素晴らしかったが、雲が多く昨日の谷川が望めないのが残念だった。三角点に座ってビアを一本頂いた。(失礼) 風が冷たかった。



稲包山頂上

下山する。

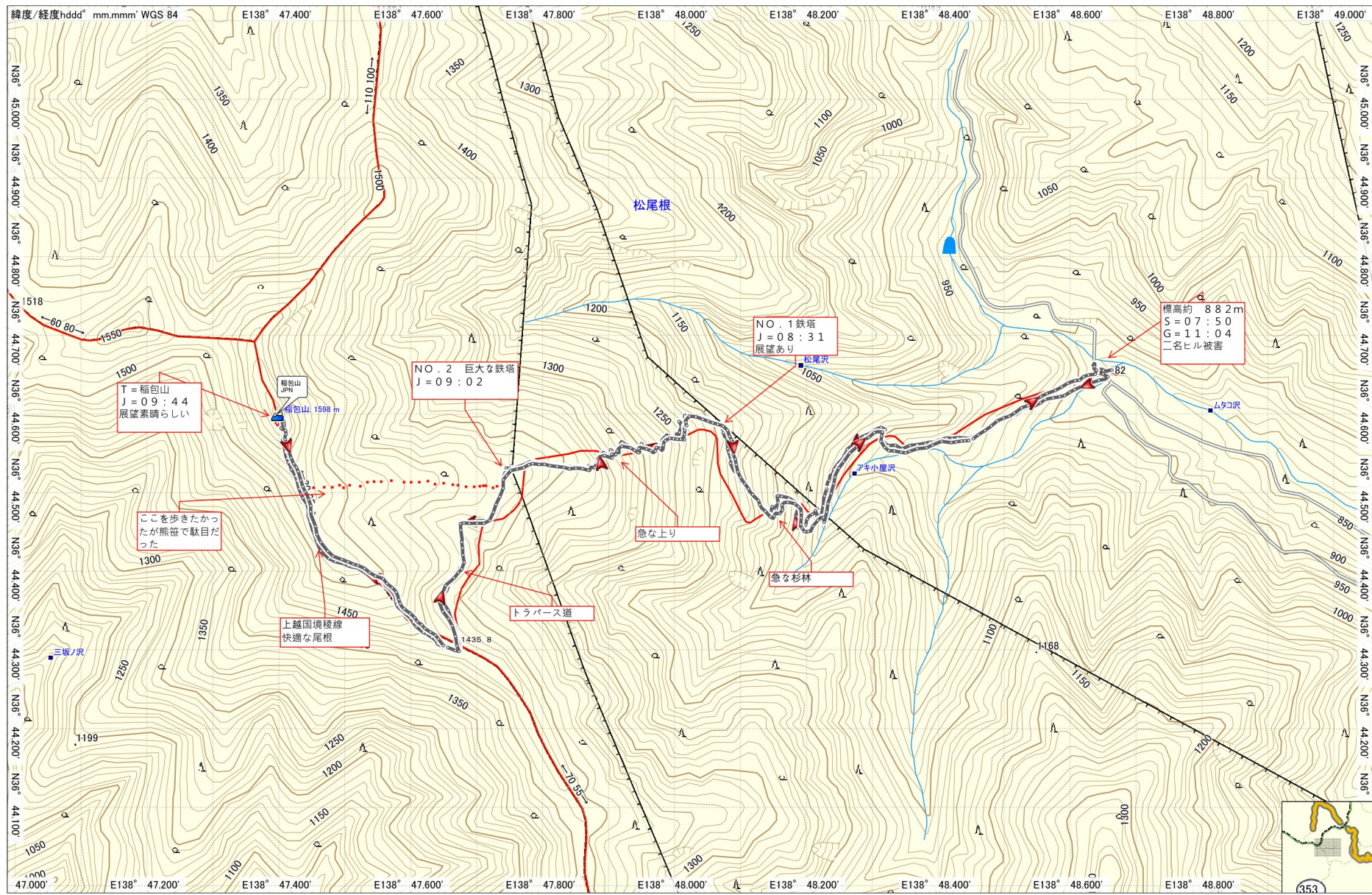
登山時に気が付かなかった、残りシャクナゲが咲いていた。

1時間ほどで駐車場着。ところが、〇に小さなヒルが付いていた。それを聞いた、Kが脚を捲ったら大きなのがいて大騒ぎ。幸い、吸血には至らなかったようだ。

すぐ近くの法師温泉で汗を流した。混浴温泉に若い美女が2名入っていた。思わず魅入ってしまったオジサンでした。トホホ・・・(笑)

追記

1. 民宿「みちのく」は、7700円でサービス・食事・寝具などサイコーだった。
2. 法師温泉日帰り入浴は1000円。休憩場で食事も出来る。
3. 水上の朝が早く「生ドラ」を購入できなかった。月夜野IC手前で1軒営業していて、購入出来た。
4. 月夜野IC近くはガソリンスタンドが少なく要注意。
4. 帰路の関越道は全く渋滞がなく快適だった。
5. 民宿で飲んだ日本酒は、地酒の「水芭蕉」だった。
6. 花は殆ど無かった。
7. 二日間、皆さん良く歩きました。次回も楽しみましょう。



Japan Topo 10M Plus V3
Copyright © Garmin, Inc. 1995-2014
Garmin Corporation 1995-2014

2018/06/10 6:29:42

GARMIN

2018/01/01

